

第4回 学校運営協議会

1. 会長あいさつ

先日、私立入試が終わった。学校によって対応が異なっていた。今日は、函中のことを協議していきたい。よろしくお願いします。

2. 校長あいさつ

今年度も残すところあとわずか。行事等も滞りなく終わった。私立入試も問題なく終わった。1月中旬以降、生徒はインフルエンザに140名ほど罹った。教員も4名罹った。野球部は東中と合同部活動として県大会に出場する。

3. 議事

(1) 校長より～理想の学校づくりをめざして～

① 楽しい、おもしろい、価値のある学びができる学校について

- ・3年の保護者としては、子どもから「〇〇先生の授業は楽しい」「学校は楽しかった」と聞いている。「授業に意欲的に」という言葉を肯定的には考えていないかも。友達との差を感じているかも。
- ・2年の保護者として、子どもは学校が楽しいようだ。学習に対してやる気はある。ただ、結果がついてこないとやる気が下がるのかも。
- ・今日、授業参観すると、意欲的に授業を受けているし、楽しそうだった。

② 安心、安全に過ごし、自分らしさを発揮できる学校について

- ・居心地のよさについては、学年によって数値が違う？
→3年の割合が低い。
- ・「そう思う」と自信をもって答える生徒が減っている。
- ・居心地がよくないと感じている生徒への支援はどうなのか？
- ・例年7月から12月で下がっているのか？
→昨年度も下がっている。
- ・1学期は中体連・修学旅行、2学期は蒼龍祭という行事があるが、3学期以降はないからか。

③ 変化に対応し、研究と修養につとめ、新しい視点で改善につとめる教師集団について

- ・数値としてはいいが、教師目線なのか、子ども目線なのか。しっかり分析した方がよい。
- ・子どもの姿と照らし合わせて考えたい。
- ・先生自身が意欲をもってやってほしい。
- ・一般社会では、飲み会をしてコミュニケーションを図っているが、先生たちはどうなのか？
→飲み会はコロナ禍に比べて減ったが、一年で数回やっている。
- ・民間は飲み会がない。若者は参加しない。
- ・覚えるだけの授業ではなく、工夫して先生たちが授業をしている。
- ・先生たちは、働き方を考えながら生活しているのでは。

- ・残業時間も減っている？

→減っている。

④函南スタンダードについて

- ・子どもによって違う。あいさつは女の子の方がする。「ふるさとを愛し」については、どれだけ大人が函南町の魅力を感じさせられるか。
- ・本については、自分が興味のある本を読めばいいのでは。
- ・スマホの影響もある。
- ・電子書籍は、本に比べると…
- ・読み聞かせについても、ただ読むのではなく、子どもが興味のある本を選ばないと、という気持ちになった。
- ・函南中の子はよくあいさつする。気にするほどではない。
- ・項目の内容を変えれば、数値も変わるのでは？
- ・面接指導で、「函南のよさは？」と聞いたら、しっかり答えられた。
- ・子どもは、他の町との比較ができないから、わからないのでは？
- ・質問を変えたい。どの項目も2段階ある。
- ・真面目な子ほど、AではなくBにしてしまう。

(2)学校評価について

- ・毎朝読書をしている学校が減っている。その中で函南中は実施していることは評価できる。

(4)地域と学校の連携について

- ・八ツ溝では、地区の行事にも生徒が参加してくれた。
 - ・大竹地区ではお祭りをやっているが、部活の関係で参加できない。
 - ・桑村小の運動会に、中学生ボランティアが参加する予定だったが、雨でできなかった。
 - ・丹那小の運動会に、中学生が参加してくれ、係の仕事をしてくれた。
 - ・町からの連絡が遅かったため、今年度は区で日程を決めて防災訓練を実施した。
 - ・防災訓練は、来年度、町は12月第一日曜日に実施予定。
 - ・3月には町は来年度の計画を区に伝えてほしい。
-
- ・来年度の面接指導は、早めに案内を出したい。